

花山天文台にて「名月と名曲」

吉川長伸（京都大学邦楽サークル叡風会）

タクシーに乗り込み、「花山天文台まで！」と言うと「どこにあるかようわかりまへん」と運転手さんに言われ不安にかられた出発だったのですが、惑い迷われ着いてみればそこには戦前の建築物らしい風情ある天文台があり、心弾むのを感じました。天文台周辺を散歩したり演奏会場である屋上でお弁当をいただいたりして演奏までの待ち時間をつぶし、リラックスすることができました。屋上での演奏は室内のような音響効果がないという難しさもありましたが、箏、三絃、尺八の音色が秋のひんやりした空気のかなかに漂い、参加者の方々が夜空に思いを馳せる手助けになった（少なくとも邪魔にはなっていない）と信じています。残念ながら途中からは雨が降り始めたので天文台内の図書室での演奏に変更となりました。しかし、もともと邦楽は室内音楽ですので、書斎のような渋味の効いた雰囲気のある図書室にて、拙い演奏ではありますが邦楽の真髄をお聞かせすることができたのではないかと考えています。最後にこの場をお借りして、NPO 花山星空ネットワークの皆様、演奏する機会をいただいたことにお礼申し上げます。

邦楽コンサート 屋上(左)で行っていたが雨のため図書室(右)へ移動

